



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <http://www.jalco-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 松島 正道

TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	379	38.5	233	57.0	154	66.9	124	36.5
2019年3月期第1四半期	274	223.9	148		92		91	75.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 119百万円 (23.6%) 2019年3月期第1四半期 96百万円 (73.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.46	1.33
2019年3月期第1四半期	1.74	1.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	22,565	8,845	38.8	102.33
2019年3月期	19,496	8,726	44.3	100.94

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,751百万円 2019年3月期 8,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	774	45.5	471	76.4	297	81.1	238	66.4	2.78
通期	1,750	51.1	1,250	94.3	1,000	130.6	800	95.6	9.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	85,522,318 株	2019年3月期	85,522,318 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	428 株	2019年3月期	428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	85,521,890 株	2019年3月期1Q	52,546,039 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度の3月に取得した3物件及び当第1四半期連結累計期間に取得した物件による収益不動産の増加に伴い売上高3億79百万円（前年同期比38.5%増）、営業利益2億33百万円（前年同期比57.0%増）、経常利益1億54百万円（前年同期比66.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億24百万円（前年同期比36.5%増）となり、いずれも前年同期比を大きく上回る結果となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりでございます。

〈貸金事業〉

当事業部門におきましては、収益性及び担保価値等を十二分に吟味し、回収可能性等を慎重に検討した上で取り組んでおります。貸付期間については、1年以内の短期の貸付を中心に行っているため、期中における貸付金の返済に伴い営業貸付金が大きく減少することがあります。前連結会計年度においては、2019年3月に貸付先の1社において一部事業譲渡が成就し、営業貸付金の全額24億87百万円を回収したことにより、前連結会計年度末における営業貸付金は15億41百万円まで減少しました。

当第1四半期連結累計期間において、新規貸付15億円を行ったことにより、営業貸付金は30億41百万円（前期末比97.3%増）まで増加しましたが、前第1四半期連結会計期間末における営業貸付金36億35百万円を下回ったため、貸出金利息が前年同期より減少し、当事業部門における売上高は、82百万円（前年同期比16.4%減）、セグメント利益は60百万円（前年同期比6.0%増）という結果となりました。

当社といたしましては、収益性及び担保価値等が十二分に見込める貸付先における資金需要が旺盛にあるため、ソーシャルレンディング事業を絡めて、資金需要に対応していく所存でございます。

〈不動産賃貸業〉

当事業部門におきましては、当第1四半期連結累計期間に山口県の商業施設を取得し、収益不動産の保有残高は176億17百万円（前期末比6.2%増）となりました。前連結会計年度の2019年3月に取得した3物件も寄与し、当第1四半期連結累計期間において、売上高は2億96百万円（前年同期比69.7%増）、セグメント利益は1億6百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

当社としては引き続き、長期・安定的な収益貢献が見込める案件については積極的に購入してまいります。

また、当社の収益不動産については、収益性の観点から購入依頼のご要望も多いことから、保有資産残高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を考慮しながら、収益不動産の入れ替えも図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して20億38百万円増加し44億28百万円となりました。これは主に、営業貸付金が15億円、物流施設用不動産取得のための仕掛販売用不動産が5億52百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して10億31百万円増加し181億26百万円となりました。これは主に、事業会社向けの賃貸用不動産が10億70百万円増加したことなどによります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して30億69百万円増加し225億65百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して19億95百万円増加し38億85百万円となりました。これは主に、短期借入金が17億50百万円、連結子会社から当社への配当金に係る源泉所得税等によりその他が1億83百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して9億54百万円増加し98億34百万円となりました。これは主に、新規借入で長期借入金が9億10百万円、新規賃貸借契約により長期預り保証金が44百万円増加したことなどによります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して29億50百万円増加し137億19百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1億19百万円増加し88億45百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1億24百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が5百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年5月10日に公表致しました業績予想を、2019年8月9日に修正しております。詳しくは、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,421	380,714
信託預金	161,596	154,444
営業貸付金	1,541,000	3,041,000
仕掛販売用不動産	—	552,719
未収入金	2,089	1,594
未収収益	10,238	18,609
未収消費税等	113,271	113,373
未収還付法人税等	2,473	177,212
その他	17,594	6,740
貸倒引当金	△8,520	△17,520
流動資産合計	2,390,164	4,428,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,418,846	1,400,424
信託建物(純額)	1,738,872	1,718,789
工具、器具及び備品(純額)	3,208	2,924
土地	9,764,962	10,835,938
信託土地	3,708,913	3,708,913
有形固定資産合計	16,634,804	17,666,990
無形固定資産		
ソフトウェア	27,908	30,710
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	28,192	30,994
投資その他の資産		
投資有価証券	189,827	184,554
破産更生債権等	171,730	171,730
長期未収入金	87,767	85,237
差入保証金	24,268	24,641
長期前払費用	77,204	81,356
繰延税金資産	96,790	94,090
その他	44,198	44,198
貸倒引当金	△259,498	△256,967
投資その他の資産合計	432,289	428,841
固定資産合計	17,095,286	18,126,826
繰延資産		
株式交付費	10,990	9,991
繰延資産合計	10,990	9,991
資産合計	19,496,442	22,565,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,150,000	2,900,000
1年内返済予定の長期借入金	449,292	520,181
未払法人税等	49,522	33,999
前受金	80,392	86,672
信託前受金	18,690	18,690
匿名組合預り金	121,411	121,397
その他	20,340	204,255
流動負債合計	1,889,648	3,885,197
固定負債		
長期借入金	8,211,969	9,122,402
長期預り保証金	561,250	605,377
信託預り保証金	106,592	106,592
その他	407	371
固定負債合計	8,880,220	9,834,744
負債合計	10,769,869	13,719,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,274,877	4,274,877
資本剰余金	5,439,112	5,439,112
利益剰余金	△1,064,962	△940,496
自己株式	△50	△50
株主資本合計	8,648,976	8,773,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,673	△21,947
その他の包括利益累計額合計	△16,673	△21,947
新株予約権	94,269	94,269
純資産合計	8,726,572	8,845,765
負債純資産合計	19,496,442	22,565,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	274,021	379,472
売上原価	45,649	61,342
売上総利益	228,371	318,130
販売費及び一般管理費	79,408	84,317
営業利益	148,963	233,813
営業外収益		
受取配当金	76	7,748
為替差益	3,400	—
受取賃貸料	1,732	1,604
貸倒引当金戻入額	—	2,530
その他	61	13
営業外収益合計	5,271	11,896
営業外費用		
支払利息	50,616	64,152
賃貸不動産経費	377	374
為替差損	—	2,649
借入手数料	7,171	22,828
株式交付費償却	—	999
貸倒引当金繰入額	3,400	—
営業外費用合計	61,565	91,004
経常利益	92,669	154,705
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	92,669	154,705
匿名組合損益分配額	1,049	875
税金等調整前四半期純利益	91,619	153,830
法人税、住民税及び事業税	18,254	26,663
法人税等調整額	△17,821	2,699
法人税等合計	433	29,363
四半期純利益	91,186	124,466
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,186	124,466

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	91,186	124,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,285	△5,273
その他の包括利益合計	5,285	△5,273
四半期包括利益	96,472	119,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,472	119,193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	99,076	174,783	273,859	161	274,021	—	274,021
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	99,076	174,783	273,859	161	274,021	—	274,021
セグメント利益 又は損失(△)	56,633	61,065	117,699	△809	116,889	△24,220	92,669

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料並びに中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△24,220千円は、内部取引消去額30,986千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,207千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	82,782	296,543	379,325	147	379,472	—	379,472
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	82,782	296,543	379,325	147	379,472	—	379,472
セグメント利益 又は損失(△)	60,036	106,461	166,498	△1,068	165,429	△10,724	154,705

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料並びに中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△10,724千円は、内部取引消去額41,766千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,490千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間より、各報告セグメントの共通費の配賦方法の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法で作成しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2019年8月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

柔軟かつ機動的な資本政策及び株主への利益還元のため、自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得する株式の種類

当社普通株式

(2) 取得し得る株式の総数

2,000,000株

(3) 株式の取得価額の総額

500,000,000円

(4) 取得期間

2019年8月13日～2020年2月12日

(5) 取得方法

東京証券取引所における市場買付